

一般県道中野飯山線道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

柳沢遺跡 現地公開資料

1 柳沢遺跡の概要

柳沢遺跡は南北 800m、東西 600m に大きく広がっています（図 1 参照）。

平成 18 年～20 年の築堤事業に伴う発掘調査（築堤地点）で縄文時代・弥生時代・平安時代の集落跡が見つかっています。特に、弥生時代に埋納された銅鐸、銅戈が出土し、全国的に注目を集めました。本年度の県道改築事業に伴う発掘調査では、柳沢遺跡の南端部の状況がわかってきました。

2 平成 29 年度の発掘調査成果

今年度の調査では、縄文時代中期、弥生時代中期、平安時代の遺構と遺物が見つかりました。また、古墳時代と中近世の遺物も出土しています。

過去の築堤地点の調査では、北側に縄文時代、弥生時代、平安時代の集落跡が、南側には弥生時代以降の水田跡が見つかっています。弥生時代では、青銅器埋納坑の北側に集落があり、その南側には墓域と水田が広がっており集落は確認されていませんでした。しかし、今回の調査で、埋納坑の南側の D 区で弥生時代中期の竪穴建物跡と思われる遺構や遺物が発見され、C 区の東側斜面上方に集落跡が存在する可能性が高くなりました。

主な遺構

- ・竪穴建物跡（縄文時代中期 3 棟・弥生時代中期 1 棟？）
- ・溝跡（弥生時代 1 条・近世以降 4 条）
- ・土器集中（弥生時代と平安時代 5 ケ所）

主な出土遺物

- ・土器（縄文時代、弥生時代、古墳時代、平安時代、中世・近世、近代）
- ・石器（縄文時代、弥生時代中期）
- ・鉄製品（平安時代） ・木製品（中世以降）

3 これからの柳沢遺跡

広大な柳沢遺跡では、縄文時代や弥生時代や平安時代の集落跡は確認されていますが、古墳時代の集落跡は見つかっていません。これまでの調査でも古墳時代の遺物はわずかしか出土していませんが、畑などで土器がたくさん見つかる場所があるようです。遺跡のどこかに古墳時代の集落があったかもしれません。土器などの遺物がどこから見つかっているのかを調べることで、柳沢遺跡全体の集落の変遷を推測することもできます。

来年も発掘調査を行う予定です。ご協力、よろしくお願いいたします。

柳沢遺跡 現地公開資料
（一般県道中野飯山線改築事業）

（一財）長野県埋蔵文化財センター
電話 026-293-5926





図1 柳沢遺跡全体図